

## 長 崎 県 観 光 動 向 調 査 (平成 29 年 1～3 月分)

### ● 主要指標

平成29年1～3月

	対象 施設	延宿泊客数 利用者数	H29-H28 同期比	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	163	1,146千人	▲ 9.5%	▲120千人
主要観光施設	27	2,015千人	▲ 0.3%	▲7千人

	主要宿泊施設 客室稼働率	前年同期比 (ポイント)
1～3月累計	68.5%	▲ 2.1
1月	58.5%	▲ 3.3
2月	68.4%	▲ 5.6
3月	78.8%	+ 2.2

### ● 概況

- 主要宿泊施設の宿泊客数は、熊本地震からの回復を後押ししてきた「九州ふっこう割」が前期で終了し、また、昨年 2 月末まで実施した「ふるさと割」の反動減や、複数の大型宿泊施設のリニューアル工事等に伴う休館などにより、1～3 月期全体では対前年同期比▲9.5%と 4 期連続の減となった。特に 2 月は、昨年の閏日の影響や大型イベントの日程の関係もあって対前年比▲17.3%と大幅な減少であった。一方、客室稼働率については、3 月には対前年増となっていることから、全体的には持ち直しつつあるといえる。
- 主要観光施設の利用者数は、昨年の記録的大雪の反動増などがあった 1 月は 3 か月連続の対前年増となったが、2 月、3 月はグラバー園や軍艦島、ハウステンボスなどの大型施設の減少が響いて対前年減となり、1～3 月期全体では対前年同期比▲0.3%となった。一方で、映画「沈黙－サイレンス－」の公開効果で前年同期と比べ約 3 倍となった遠藤周作文学館など、入場者数を大きく伸ばした施設もあった。

## ブロック別の主な増減要因

### 【長崎・西彼ブロック】

昨年の「ふるさと割」や前期までの「九州ふっこう割」などの反動減に加え、一部施設の休館や昨年の造船関係ビジネス需要による外国人宿泊客の反動減が影響し、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比▲12.8%となった。特に2月は、ランタンフェスティバルの日程の関係もあって宿泊客数の減少が大きかった。

### 【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

団体客や外国人観光客の集客の不調が続いており、「ふるさと割」などの反動減もある中、特にハウステンボスの入場者数が大きく減少した2月は大幅に宿泊客が減少し、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比で▲8.1%となった。

### 【平戸・松浦ブロック】

松浦地区はビジネス需要が好調だったものの、平戸地区は一部施設のリニューアルによる休館の影響や、昨年の「ふるさと割」の反動減もあって宿泊客が大幅に減少し、1～3月期のブロック全体の宿泊客数は対前年同期比▲21.5%と著しく減少した。

### 【諫早・大村ブロック】

昨年の造船関係ビジネス需要の反動などで1～2月の宿泊客数は対前年減が継続したが、3月は1年ぶりに増に転じ、1～3月期全体では対前年同期比▲1.9%となった。

### 【島原半島ブロック】

「ふるさと割」や「九州ふっこう割」の反動減に加え、一部施設のリニューアルによる休館なども影響し、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比▲11.1%となっており厳しい状況が続いている。

### 【五島ブロック】

新規施設の稼働が堅調であり、2～3月は団体客の動きも好調であったことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+23.1%と大幅増となった。

### 【壱岐ブロック】

1月は団体客が好調で対前年増となったものの、3月は昨年のツアー客数等大幅増の反動減が見られ、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比▲7.6%となった。

### 【対馬ブロック】

前期の釜山航路船舶の大型化効果もあって、韓国人観光客の拡大が続いており、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+17.8%と好調を維持した。

### 【参考】外国人観光客（宿泊客）の動向

1～3月期全体の外国人宿泊客数は対前年同期比▲19.5%と4期連続の減少となった。特に2月は春節の日程の影響もあり、対前年比▲27.6%と大幅な減少となった。

国・地域別に状況を見ると、対馬への入込が好調な韓国は対前年同期比増であったものの、団体ツアーの集客が回復していない台湾は4期連続で大幅な減となっており、また、これまで平成25年10～12月期から増加を続けてきた中国が減少に転じた。さらに、アジア以外では昨年の造船関係ビジネス需要の反動減の影響が大きく4期連続の減少となった。

(参考資料)





